

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、 特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定） 必ず入力してください
	1) 生きる力を創る 2) 協調性を持ち、他者を尊重し認め合う心を育てる 3) のびのびと自己表現ができる環境を提供する 4) 試行錯誤をする中で考え創造し、自分で判断する力を養う 5) 探索活動を大切にし、こどもの興味や関心に寄り添う
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	(1) 職員に求めている人材像や役割 必ず入力してください
	・自ら進んで考え行動し、失敗しても素直に受け止め次に繋げて頑張れる人材。 ・担任としての責任感、意識。
	(2) 職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） 必ず入力してください
	・コミュニケーション能力、積極性、気配り、目配り、責任感。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	本園11世帯を調査対象とし、全世帯より回答を得た。兄弟姉妹がいる世帯は1世帯とし、当園に複数名の園児を預けている場合は、保護者側の選択のもと、1名のみを対象に回答。	
調査方法	アンケート方式で実施。 園側に保護者アンケート用紙の配布を依頼。回答後は評価機関宛ての返信用封筒にて、直接郵送してもらう方法で実施。	
	利用者総数	11
	利用者家族総数（世帯）	11
	共通評価項目による調査対象者数	11
	共通評価項目による調査の有効回答者数	11
	利用者総数に対する回答者割合（％）	100

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合評価は「大変満足」が36.1%、「満足」が63.6%となり、「大変満足・満足」を合わせて100%の保護者が満足していると回答しています。「子どもの様子を見ていて、楽しそうに帰ってくるので、しっかり見てくださっているのだと感じます。」「毎日子どもと向き合い、様子を事細かに教えていただけるので安心していきます。」「毎日年齢の違う子とも関わりながら、楽しく通わせてもらっています。」「どの先生も子どもに寄り添ってくれ、とても温かい保育園です。」「小規模保育園なのが残念で、入学前までお世話になりたいくらいです。」というコメントがあり、感謝をする声が多く寄せられています。

利用者調査結果

コメント欄を必ず入力してください

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	11	0	0	0
この項目では「はい」の回答が100%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	11	0	0	0
この項目では「はい」の回答が100%という結果となりました。「園庭がないのですが、公園や散歩の連れて行ってくれ、交通マナーや遊具の順番を守るなど学べます。」というコメントがありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	11	0	0	0
この項目では「はい」の回答が100%という結果となりました。「イベント献立はとても楽しみにしており、食育にも良いです。」というコメントがありました				
共通評価項目	実数			

コメント	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答 非該当
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	9	2	0	0
この項目では「はい」の回答が81.8%、「どちらとも言えない」は18.2%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となりました。コロナ禍による影響で十分とはいえないという旨の声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	5	3	0	3
この項目では「はい」の回答が45.5%、「どちらとも言えない」は27.3%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は27.3%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	10	1	0	0
この項目では「はい」の回答が90.9%、「どちらとも言えない」は9.1%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	8	2	0	1
この項目では「はい」の回答が72.7%、「どちらとも言えない」は18.2%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は9.1%という結果となりました。「保育参観などは1日だけでなく数日ピックアップしてくれたので対応しやすかったです。」というコメントがありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	8	3	0	0
この項目では「はい」の回答が72.7%、「どちらとも言えない」は27.3%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となりました。「お迎えの時に1日の様子の詳細や家庭での様子を気に掛けて下さいます。」「とても寄り添って頂けていると感じています。」というコメントがありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	9	0	0	2
この項目では「はい」の回答が81.8%、「どちらとも言えない」は0%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は18.2%という結果となりました。「おもちゃなども消毒してくれて、気持ち良く過ごせていたと思います。」というコメントがありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	6	4	0	1
この項目では「はい」の回答が54.5%、「どちらとも言えない」は36.4%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は9.1%という結果となりました。「全く問題ありません。」というコメントがありました。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	6	2	0	3
この項目では「はい」の回答が54.5%、「どちらとも言えない」は18.2%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は27.3%という結果となりました。「冷やしたりなど、初期対応してくれます。」というコメントがありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	5	2	0	4
この項目では「はい」の回答が45.5%、「どちらとも言えない」は18.2%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は36.3%という結果となりました。「トラブルを見たことがないので、わかりません。」「両方の子どもの話をしっかり聞いてくれます。」というコメントがありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	10	0	0	1
この項目では「はい」の回答が90.9%、「どちらとも言えない」「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は9.1%という結果となりました。「成長に合わせて子どもの気持ちを尊重してくれます。」というコメントがありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	9	0	0	2
この項目では「はい」の回答が81.8%、「どちらとも言えない」は0%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は18.2%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	8	2	0	1
この項目では「はい」の回答が72.7%、「どちらとも言えない」は18.1%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は9.1%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	6	3	0	2
この項目では「はい」の回答が54.5%、「どちらとも言えない」は27.3%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は18.2%という結果となりました。「しっかりと調べて回答してくれます。」というコメントがありました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	1	5	1	4
この項目では「はい」の回答が9.1%、「どちらとも言えない」は45.4%、「いいえ」が9.1%、「無回答・非該当」は36.4%という結果となりました。コメントはありませんでした。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

1 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5、7）

No	共通評価項目		
1	カテゴリー1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー1（1-1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している 評点（ ●● ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、 事務所をリードしている 評点（ ●● ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて 意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点（ ●●● ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
カテゴリー1の講評			
カテゴリー1の講評を入力してください			
① 園の理念や保育方針等は、利用者や職員に様々な方法で周知する体制を整えています 園は保育理念として「生きる力を創る」と掲げているほか、保育目標として、協調性・のびのび・試行錯誤・探索活動の4項目を主要方針として示しています。職員への理念の浸透を図るため、園見学や面談時に園長・採用課・部長が立ち合い理念等の説明をおこなっているほか、法人の理念や方針等を示す書籍「木下の心得」を職員に配布し、より深い理解へと繋げています。利用者に向けた取り組みでは、玄関や法人ホームページ・重要事項説明等に掲載のほか、入園説明会や日々のコミュニケーションを通じて、園の大切にする考えを伝えています。			

② 年度ごとに定める「役割り分担表」をもとに、取り組むべき方向性を明示しています
 本社が定める運営方針や職員が取り組むべき役割を示すため、年度ごとに定める「役割り分担表」もとに園長が各職員の職務について説明をおこなっているほか、事務所に掲示し職員が確認できる体制を整えています。また、大切な子どもたちの命を預かっている意識を全員が持つことや、日々の保育を通して報・連・相を徹底するなど、園長主導のもと保育園の重要な責務や社会人としての心構え等の説明をおこなっており、取り組むべき方向性の理解に向けて丁寧に説明をする機会を設けています。

③ 運営に関わる重要な案件は、定めた手順により職員と利用者に向け情報を共有しています
 運営に関わる重要な案件は、法人本社・園長会議・職員会議の手順により情報の共有方法を定めているほか、情報の内容により園長が判断し、職員個別・職員会議、副主任に伝えているほか、欠席等などの必要な場合は事務所に提示しています。また、職員会議の前には本社の案件を踏まえた議題を配布し、決定経緯など事前に伝えることでスムーズに理解に繋がっています。利用者に向けた取り組みでは、園業務支援アプリでの一括配信や、お知らせの配布、送迎時の口頭説明など、運営に関わる情報は内容により適切な周知方法の体制を整えています。

2

カテゴリー 2

事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー 1 (2-1)

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点 (●●●●●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー 2 (2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点 (●●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目 2

着実な計画の実行に取り組んでいる

評点 (●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方	○非該当

	法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 2 の講評 カテゴリー 2 の講評を入力してください		
① 保護者とのコミュニケーションを大切にし、意見や意向の把握に努めています 園を取り巻く環境についての情報収集や課題抽出を目的として、行事後の保護者の感想を送迎時の会話によりフィードバックを収集しているほか、日々の保護者との会話から意向の確認に取り組んでいます。職員からの情報収集においては、定期的に話す機会を設け、各職員の意向や意見の把握に努めています。行政との関りでは、ケガ・事故防止・感染症・、災害訓練などの情報の収集をおこない、業界の動向の確認に取り組んでいます。事業所の経営状況においても、毎月本社と収支状況を確認し、小規模園の状況に合わせた支出管理に努めています。 ② 抽出した課題解決に向けて、全体的な計画をもとに年間指導計画等を立案しています 情報収集により抽出した課題の解決に向けて、園長と副主任で立案する全体的な計画をもとに年間指導計画に繋げており、園全体もしくは各クラスの保育を見直し、実行、反省を記入しています。また、年間指導計画では食育を重点的な取り組みの一つとして挙げており、野菜の皮むきなどの簡単なクッキングをおこなうほか、スイカ割など子どもと一緒にできる活動を通して、理念に沿った保育となるよう計画の策定に取り組んでいます。また、行事計画案では園児へのプレゼントも含めた予算編成となるよう工夫した計画に努めています。 ③ 計画は適時見直しをおこなうほか、全職員で協力し計画を推進する体制を整えています 園が目指す運営計画の実現に向け策定した行事計画書では、職員の担当係を決め計画の実行に向けて取り組んでいるほか、担当以外の職員も行事の準備に関わり、計画を円滑に遂行できるよう園全体で取り組んでいます。また、各種計画は月ごとに進捗の確認をおこなっており、会議録の反省や振り返りを参考に、翌月の計画の修正に取り組んでいるほか、職員の就労状況の確認も把握し、シフト体制や職員の役割分担など、園長と副主任が検討し月単位で見直しに取り組み、働きやすい環境の構築に努めています。		
3	カテゴリー 3	
経営における社会的責任		
サブカテゴリー 1（3-1）		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点（ ●● ）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるように取り組む、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリー 2（3-2）		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目 1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に		

対応する体制を整えている		評点 (●●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目 2		
虐待に対し組織的な防振対策と対応している		評点 (●●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー 3 (3 - 3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目 1		
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点 (●●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目 2		
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点 (●●●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 3 の講評		カテゴリー 3 の講評を入力してください
① 法人の定める規定や「保育の心得」をもとに、法令遵守に向けて取り組んでいます 社会人及び福祉サービスの従事者として、守るべき法・規範・倫理・コンプライアンスの徹底に向けて、法人の定める「個人情報管理ガイドライン」や法人の書籍である「木下の保育園 保育の心得」をもとに、全職員で法令遵守に向けて取り組んでいます。規定類は事務所内に掲示し、いつでも確認できる状態にしています。また、新卒の入職時には2日間の新人研修をおこなっているほか、職員会議や職員面談を通じて低規定にコンプライアンスに関わる内容に触れ、園全体での留意する体制を整えています。 ② 苦情や虐待は組織的に対応するため、関係機関を含めた組織的な体制を整備しています 利用者の意見・要望等を把握するため、送迎時の保護者とのコミュニケーションや、連絡帳のやりとり、電話など様々な方法にて意向の確認をおこなっているほか、苦情解決制度が利用できる旨は、入園前の保護者説明会にて伝えています。苦情の解決に伴う手順は、園長および主任が苦情を把握し園で解決策の検討をおこなっているほか、内容の種別により本社に相談し解決を図っています。また、虐待等の防止に向けて、職員間で声掛けをおこない留意しているほか、虐待の疑いが認められた場合は、行政や支援センター等に通報する体制を整えています。		

	③ 活動内容の開示や貢献活動に取り組み、地域との関係づくりに努めています 園は運営の透明性を確保するため情報公開に努めており、公式ホームページでの情報提供や、利用希望者の園見学の受付をおこない園のしおりを配布しています。また、事業所の機能や専門性を活かした地域貢献としてAEDを設置し、入口には設置を表すステッカーを掲示しています。コロナ禍以前は実習生を受け入れていましたが、現在は中断をしています。年2,3回の小規模保育連絡協議会に参加し情報交換に努めているほか、近隣保育園との連携やデイサービス利用者との関りの再開にむけて、コロナ禍の情勢を見極めつつ検討をおこなう予定です。		
4	カテゴリー 4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー 1 (4-1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (●●●●●)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
	●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
	サブカテゴリー 2 (4-2)		
	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (●●●●●)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	
カテゴリー4の講評		カテゴリー4の講評を入力してください	
① 事業継続計画や項目別のマニュアルをもとに、リスクマネジメントに取り組んでいます 園は運営に対する様々なリスクマネジメントに向けて、事業継続計画（BCP）に加え、行政のガイドラインを含む、感染症・アレルギー・災害などの項目別に定めたマニュアルを整備しています。マニュアルは園内掲示や事務所内の保管に加え、毎月の避難訓練を実施し園全体で危機管理に努めています。緊急時の対応は、一斉メール配信・災害伝言ダイヤルの体制を整え、保護者の協力のもと引き取り訓練を実施しています。ヒヤリハットは年間で集計し、系列園で集約した再発防止策を組織全体での運用ができるよう体制を整えてい			

ます。

② 法人の定める個人情報管理ガイドラインをもとに、適切な管理体制を整えています

園が収集した個人情報の取り扱い、法人の定める「個人情報管理ガイドライン」をもとに管理をおこなっています。業務上知り得た個人情報については、「保育の心得」で書類・機器・管理の方法を明示し情報の保護を徹底しています。個人情報を含む書類は鍵付きの書庫で保管し、一定期間を経過した書類は、細断処理もしくは倉庫にて保管しています。電子機器はアクセス権限を設け、役位ごとに閲覧できる情報を区分けしているほか、USB メモリの使用は控え機器の持ち出しは禁止としており、適切な情報管理体制に取り組んでいます。

③ 新型コロナウイルス感染症の基本対策に加え、園独自の施策に努めています

新型コロナウイルス感染症の基本対策として、園の玄関での検温実施・手指消毒や手洗いの実施・玩具や室内の消毒、換気・食事の際のパーティション設置などの対応をおこなっています。特に検温対策は重点的に取り組んでおり、園児だけの体温だけではなく、保護者にも朝と当園時の体温測定を求めています。毎日の登降園では、保護者は玄関先までの対応とし、入園希望者の園見学は保育室に入らず廊下での対応とするなど、コロナ禍に合わせた対応に取り組んでいます。

5

カテゴリー 5

職員と組織の能力向上

サブカテゴリー 1 (5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する
人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点 (●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目 2

事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点 (●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目 3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点 (●●●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目 4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点 (●●●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金・昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー2（5-2）		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点（ ●●● ）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー5の講評 カテゴリー5の講評を入力してください		
① 職員の意向に沿ったキャリアパスを提示し、意欲的に働ける体制を整えています 採用活動は本社が主導で実施しており、自社ホームページ・求人サイト・職員からの紹介等により採用活動をおこなっているほか、園の見学は実際に来訪してもらい、保育の様子や方針等の説明をおこなっています。採用後は本社職員も含めて面談を実施し、職員の意向を参考に適正配置を検討しているほか、キャリアパスについて説明をする機会を設けています。また、園長は年度初めに個々の職員と話し合い、意向や求めるスキルを確認し、担当係の活動を通じた経験が成長の糧となるように配慮しています。		
② 職員との面談を通じ、職員個別の能力に必要なスキルの習得に努めています 園が求める人材像の育成に向け、園長は各職員と話し合い移行の確認をおこなっています。職員個別の能力や課題に向き合い、個人別の目標の設定に取り組んでいるほか、研修スケジュールなどは適時お知らせを配布して職員に周知しています。研修の受講後は研修レポートを作成のうえ、職員間で知識や情報の共有をおこない、組織としての学びに繋げています。また、指導役の職員には、園長副主任からアドバイスやサポートを日々おこなっており、園全体でサービスの質の向上を図る取り組みをおこなっています。		
③ 職員間の良好な関係性を活かし、チームワークを活かした運営に取り組んでいます 園は職員の定着や意欲向上に向けて、処遇改善や労働環境の改善に努めており、年度末に部長を含めた面談を実施し育成や評価の内容について話し合っています。就業状況の把握にも努め適正な労務管理に取り組むほか、必要な場合は系列園からの職員のヘルプを依頼しています。また、園長は職員間の良好な関係性を重要視しており、園長自らが細やかな声かけや情報の共有をおこなうことで、園全体で報・連・相が行き届いているほか、日誌や報告書から保育に関わるコミュニケーションが生まれ、職員間で高め合う風土を醸成した関係性を築いています。		
7	カテゴリー7	
事業所の重要課題に対する組織的な活動		
サブカテゴリー1（7-1）		
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている		
評価項目1		

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

園は法人の定める理念や基本方針の実現を図るため、運営方針の一つとして掲げる「試行錯誤：最後まで諦めず 自分で判断し行動できる 子どもを育てる」を具現化することを、前年度より重要課題として捉えています。自園の良さである、「協調性」「のびのび」は長年意識して大切に実践してきたことですが、保育者によって保育観が異なることも見受けられ、方向性の統一に向けた体制の整備が課題であると考えています。課題に向けた取り組みでは、各クラスに保育者2名の配置体制をおこない、年間を通して子どもの発達に、寄り添い・見守り・促し・身に着けられるよう丁寧に取り組みました。一例では、食育の機会を利用し、とうもろこしなどの野菜の皮むきや、スイカ割りに取り組み、最後まで諦めずに自分で行動することを体現する機会を創り出しました。個々の子どものペースに合わせた丁寧な関わりに取り組み、子どもだけではなく職員にとっても諦めずに計画を実行できるような保育を心掛けたことで、子ども一人ひとりの月案や個人目標は7割り以上の達成に至っています。今後も園の大切にしている「試行錯誤」を要点に据え、理念に沿った子どもの成長に向けて取り組んでいきます。

目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

法人の掲げる理念や保育方針の具現化には、実際の保育に関わる職員が、理念や方針等を深く理解することが重要です。保育観は個々の職員に個性があることを前提に、保育の方向性の統一は安定運営の中核的な項目であります。保育計画の策定では、子どもが様々なことにチャレンジできるような工夫をおこない、野菜の皮むきなど簡単な事柄からステップアップするように考えられています。また、月齢に応じて、または個々の成長の度合いに合わせて計画を立案し、保育方針の実現に向けて振り返りや見直しを繰り返しています。今後も園全体での継続的な取り組みとして期待します。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

園は法人の定める理念や基本方針の実現を図るため、運営方針の一つとして掲げる「探索活動：興味や関心をもち 挑戦することを楽しみ 自ら表現することも育てる」を具現化することを、前年度より重要課題として捉えています。自園の良さである、「協調性」「のびのび」は長年意識して大切に実践してきたことですが、保育者によって保育観が異なることも見受けられ、方向性の統一に向けた体制の整備が課題であると考えています。課題に向けた取り組みでは、お散歩コースの見直しをおこないコースの充実を図ったほか、行ったことのない公園も選択肢に加えるなど、子どもの好奇心の芽を育て、そして安心して探索をおこなえるように取り組みしました。その結果として、出発時間を早め戸外活動の時間を十分に取れたことで、子どもが自ら興味あることを探し、自らやりたいことに挑戦することの体現に至っています。とりわけ、自然物に触れる機会が増え、ダンゴムシ・かたつむりなどの虫をカゴに入れ、観察できるよう取り組みました。今後も園の

大切にしている「試行錯誤」を要点に据え、理念に沿った子どもの成長に向けて取り組んでいきます。	
目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
法人の掲げる理念や保育方針の具現化には、実際の保育に関わる職員が、理念や方針等を深く理解することが重要です。保育観は個々の職員に個性があることを前提に、保育の方向性の統一は安定運営の中核的な項目であります。本取り組みの「探索活動」においては、子どもの生活の幅を広げるため、訪れたことのないお散歩コースと公園の開拓を図っています。関わる経路の安全面等のリスクマネジメントは十分な検証が必要であり、その体制には相応の事前準備を要したことが理解できます。職員の試行錯誤の結果の表れとして、利用者アンケートでは「戸外活動における交通マナーの理解や遊具の順番を守ることの大切さを理解できている」などの肯定的な意見を受けています。今後も園全体での継続的な取り組みとして期待します。	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー1の講評 サブカテゴリー1の講評を入力してください		
	① 法人や園のホームページで基本的な情報を公開し提供しています 園の基本的な情報は、法人ホームページや園のホームページ、園のパンフレット、区役所のホームページの保育園一覧にて利用希望者に周知しています。園のホームページでは、園長からの一言として、園の特徴を紹介しているほか、入園を検討している方へ向けて見学の案内を勧めています。また、園のパンフレットには、保育理念や保育方針、保育目標のほか、年間行事や1日のスケジュール、園の概要を記載し、実際に入園した際のイメージが持てるような配慮をしています。 ② 園の情報は、区のホームページなどで周知し、最新の情報を提供できるよう配慮しています 園の子どもの空き情報は、区のホームページで公開し、利用希望者がいつでも確認できる仕組みがあります。また、パンフレットやホームページの内容は、年度ごとに内容を確認・修正をし、利用希望者に最新の情報を提供できるよう配慮しています。そのほか、小規模保育園として、子ども一人ひとりに寄り添った丁寧な保育をおこなっていることや、保護者との信頼関係を大切に、毎日細かく子どもの様子を伝えていることなどを見学時に伝えています。 ③ 感染症対策をおこないながら希望者の意向も確認して、柔軟に園見学をおこなっています 園では、現在コロナ禍のため、廊下からのみとお知らせし理解を得て1回1組、15分程度でおこなっています。見学時には、時間が限られているため、希望者には重要事項説明書を渡し、重要な部分を確認してもらいながら、保育理念や保育目標、園の特徴などを丁寧に説明しています。見学の時間帯は、基本的に午前中の保育を見学してもらうよう伝えています。必要に応じて見学希望者の意向に合わせて柔軟に対応しています。		
2	サブカテゴリー2		
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

評価項目 2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点 (●●●)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー 2 の講評 サブカテゴリー 2 の講評を入力してください		
① 入園前面談で重要事項や同意書について、保護者の意向を確認し同意を得ています 入園が決まった際には、園長と担任による入園面談をおこない、子どもの情報を詳しく確認しています。重要事項については、入園のしおりの読み合わせをしたあとに保護者の意向を確認し、重要事項説明書の確認及び同意書に署名してもらっているほか、画像・動画に関する同意書にも意向を確認し同意を得ています。入園時に確認した情報は、入園時面談の記録として提出してもらった書類とともに事務室に保管していつでも確認できるような仕組みがあります。		
② 慣れ保育期間は子どもが安心して過ごせるよう配慮しています 利用開始時には、保護者の意向を確認しながら、子どもの慣れ状況に応じて1週間から1か月ほどかけ、慣れ保育を実施しています。慣れ保育期間中は、「保育園は安心できる場所・楽しい場所」と感じてもらうため、子どもが安心するまで近くで寄り添い、安全安心な環境を整え、必要に応じて声かけしながら見守っています。園での子どもの状況を把握し、毎日保護者へ日々の様子を細かく伝え、家庭と連携して進められるよう協力をお願いし、丁寧に対応しています。		
③ 卒園式をおこない、子どもが前向きに次のステップに進めるよう援助しています 当園は、小規模保育園のため、2歳児までの保育となっていて、2歳児の終わりには卒園式を催し、在園児と卒園児でお互いに小物入れや写真入れ、カレンダーなどのプレゼントを交換し、卒園のお祝いをしています。また、卒園や転園時には、保護者の要望があれば子どもの発達の記録など必要な情報を提供する準備をし、協力できる体制を整えています。保護者には「いつでも園に遊びに来てください」と伝え、退園したあとも支援の継続性に配慮した取り組みがあります。		
3	サブカテゴリー 3	
個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点 (●●●)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点 (●●●●●)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当

	●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
	●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価項目 3			
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している			評点（ ●● ）
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		○非該当
評価項目 4			
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している			評点（ ●● ）
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		○非該当
サブカテゴリー 3 の講評 サブカテゴリー 3 の講評を入力してください			
① 入園時の書類や日々のやり取りの中で、子どもや保護者の意向を確認しています 入園時に提出してもらった家庭状況や子どもの状況についての書類は、事務室で管理しておりいつでも確認することができる仕組みがあります。子どもの発達や生活状況については、毎日の連絡帳で家庭とやり取りをして把握するほか、健康チェックカードを活用し家庭の様子などの情報を保護者から収集しています。子どもの様子については、毎月の職員会議で都度共有し、必要に応じて援助や配慮についての情報を確認しています。 ② 全体的な計画は、保育所保育指針に基づき毎年見直しを図っています 全体的な計画は、法人が作成したものをベースに保育所保育指針に基づいて園長・副主任が立案していて、毎年1月ごろに反省や評価をおこなって振り返り、改善できることや新たに取り入れたいことなどを次年度の計画に盛り込むようにしています。個別の指導計画が必要な場合は担任が作成し、必要に応じて発達支援センターの心理士による巡回相談を園から依頼して、より子どもにあった支援や援助のアドバイスを受けています。 ③ 子どもの情報は、毎日の朝礼や保育士ノートを活用し共有しています 毎月の職員会議で、全職員と子どもの姿やねらいなどを日々の子どもの様子とともに共有しています。また、毎日の子どもの様子や保護者への伝達事項については、口頭で伝えるほか、保育士ノートやホワイトボードに記載して情報を共有し、保護者の迎えの際には担任以外の職員が対応した場合でも伝え忘れないような取り組みがあります。そのほか、毎日朝礼をおこない、園長からその日の子どもの情報や、保育園が関わる報道の内容を伝え、注意喚起などをおこなっています。			
5	サブカテゴリー 5		
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目 1			
子どものプライバシー保護を徹底している			評点（ ●● ）

評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目 2			
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している			評点（ ●●● ）
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリー 5 の講評		サブカテゴリー 5 の講評を入力してください	
① 子どもの個人情報について保護者に意向を確認して同意を得ています 子どもに関する情報は入園前の面談で、重要事項説明書及び同意書、画像・動画に関する同意書にて保護者に意向を確認したうえで同意書に署名してもらっており、同意が得られない場合には、開示しないようにしています。また、保護者に確認した同意書の内容は、朝礼や職員会議で情報を共有し、必要に応じて保育士ノートで周知しています。保護者の意向を確認したのちに、画像や動画に関する個人情報を取り扱う仕組みがあります。 ② ついたてやカーテンを使用して、子どもの羞恥心に配慮しています 子どものプライバシーを守るため、カーテンやビニールシートを使用し、外部から姿を見られないよう目隠しをしています。日常の着替え時には、裸にならないようシャツとズボンは順番に着替えることを子どもにも伝え、ロールカーテンを使用しています。おむつ替えの際には、他児から見えないよう一人ひとり交換するようにしています。また、世間で起こった事故や虐待などの報道があった際には、都度朝礼などで園長から周知し、注意喚起をおこなっています。 ③ 虐待防止や育児困難家庭への支援について更なる学びの機会を設けることに期待します 子どもの虐待が疑われる事案を素早く察知するために、園では毎日着替えの際などに身体チェックをおこない、必要に応じて法人本部や支援センターと連携が取れる体制を整えています。また、子どもの家庭状況については個人面談をおこない、それぞれの家庭の状況や保護者の価値観について面談記録に記入し、必要に応じて職員会議で情報を共有し、いつでも支援ができるような配慮をしています。今後は虐待防止や育児困難家庭についての理解をより深めるため、園内研修などを開催し定期的に学びの機会を作っていくことを期待します。			
6	サブカテゴリー 6		
事業所業務の標準化		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目 1			
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている			評点（ ●●● ）
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	

評価項目 2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点 (●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー 6 の講評

サブカテゴリー 6 の講評を入力してください

① 基本的な手順は、法人が作成したマニュアルをもとにおこない共有しています

保育園の業務に関するマニュアル等は、法人が作成しています。マニュアルは、大きく 2 つにわかれており事務マニュアルと保育に関する「保育の心得」があり、保育園の業務に関わるものが網羅してあります。そのほか、園独自でお散歩マップを作成し、公園までの経路や子どもの歩く速さで何分かかかるかなどの情報を詳しく記入することで、緊急時に園から職員が迎えに行く際に役立てています。また、各マニュアルは分野ごとにファイリングして事務所で保管をし、必要に応じて園長の許可のもと確認ができるようになっています。

② マニュアル内の特に重要な決まりやルールは、各所に掲示していつでも確認できる取り組みがあります
各マニュアル内に定められている手順の中で、現場で迅速な対応のために必要な事項はマニュアル内から部分的に抜粋し、必要な場所に掲示をしています。アレルギー緊急対応マニュアル、緊急性の判断と対応、法人本部への報告事項、保育をするうえでの危険予防、個人情報ガイドラインなど、誰もが適切に対応できるようにしています。また、新型コロナウイルスの対策は、厚生労働省から示された基準をもとにおこなっており、玄関に掲示して保護者にも周知しています。

③ マニュアルは、子どもや園の実態に合わせた内容となるよう定期的に見直しています

提供しているサービスの基本事項や手順等は、子どもや園の実態に照らし合わせ、定期的に職員からの意見や提案を聞き取り、適宜修正をしています。園長は職員との日常の会話を日ごろから大切に、コミュニケーションをこまめにとって意見が言いやすい環境の整備に努めています。職員から挙がった意見や提案は、職員会議で共有し、法人の確認が必要な案件は法人本部の会議で検討してもらい、都度修正をおこなっています。マニュアルに変更があった場合には、職員会議や朝礼で迅速に職員へ周知する仕組みがあります。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー 6-4）

サブカテゴリー 4			
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている		評点（ ●●●●● ）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
評価項目 1 の講評		評価項目 1 の講評を入力してください	
① 子どもの全体的な姿や発達を把握し、一人ひとりの育ちに寄り添った保育を心がけています 子ども一人ひとりの姿や発達は、毎日の朝礼や職員同士のコミュニケーションを通して詳しく把握をしています。子どもと丁寧に関わりながら個々に合った援助について職員間で意見を出し合い、一人ひとりの育ちに寄り添った保育を心がけています。子どもが安心して活動ができるよう職員は近くで見守り、声をかけたり一緒に遊んだりしながら、子どもの主体性を重視した保育を心がけ、一人ひとりの育ちや気持ちを大切にしながら、一つひとつの活動を進めています。 ② 子どもの興味・関心を引き出せる環境の下で、主体的に活動できるようにしています 遊びたい玩具を子どもが自分で選べるよう棚を設置したり、おままごとなどのコーナー保育を取り入れたりして、子どもの興味・関心を引き出せる環境、子どもの主体性が育まれる環境づくりをしています。また、どの絵本なのかわかりやすいように、絵本の表紙が正面に向き見えるようになっている手作りの絵本の収納場所をパーテーションに設置し、子どもの目線に立った環境を作っています。そのほか、室内には子どもたちの作った季節の制作物が飾られ、季節感を感じられるような取り組みがあります。 ③ 子どもの気持ちに寄り添い、互いの思いを伝え合えるように配慮・援助をしています 玩具や場所の取り合いや気持ちのぶつかり合いが生じたときは、すぐに止めに入らず子ども同士のやりとりを見守り、必要に応じて職員が間に入りそれぞれの気持ちを汲み取り、「○○だったね」と声に出して気持ちを代弁し、お互いの思いを丁寧に確認しながら子どもの気持ちに寄り添うことを大切にしています。また、時間帯によって担任以外の職員とも過ごすことがあるため、必要に応じて他クラスの職員が援助に入るなどして、誰が関わっても子どもが安心して思いを表現できるよう配慮しています。			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点（ ●●●●● ）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当

●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目 2 の講評 評価項目 2 の講評を入力してください		
① 保護者と連携をとり、子どもの生活状況や体調を把握するように努めています 保護者や子どもが安心して登降園できるように、子どもの受け入れ・受け渡しは基本的に担任がおこなっています。担任不在の時でも、丁寧な対応ができるようにホワイトボードや保育士ノートを活用し、職員全員で協力して情報共有を図っています。登園時は、保護者と子どもの検温情報を記入した健康観察カードを活用しながら家庭での様子を聞き取り、園と家庭と連携して子どもの状況を共有し、安全に保育ができるようにしています。朝の子どもの顔色や様子を見ながら丁寧に視診をおこない、いつもと違うことにもすぐに気づけるよう心がけています。 ② 一人ひとりの発達や意欲を大切にしながら、基本的な生活習慣が身につくようにしています 食事の形態は子どもの発達状況に合わせて準備し、きめ細やかに対応しています。トイレトレーニングはまずは家庭でいつ始めるのか、いつ始めたいのかなどの家庭の要望を聞き取り、発達に応じて子どもの無理のないように保護者と相談しながら園で進めるようにしています。またお昼寝の時間は、そばに寄り添い優しくトントンしたり、抱っこしたり、手足のマッサージをしたりするなどして子どもの気持ちを落ち着けながら、必要に応じて子守歌を歌い、安心して眠りにつけるような環境を整えています。 ③ 子どもの体調や一日の様子を丁寧伝え、保護者に安心してもらえるようにしています 園での生活の様子は、個別の連絡帳に毎日記入をして保護者に知らせるほか、迎え時に園でのその日の様子や、1 日の中で楽しんでいたこと、子どもが喜んでいたことに加え、体調面で気になったことなどがあれば口頭で直接伝えています。また、担任が直接話をするができない場合は、必要に応じて着替えやおむつの補充依頼などをメモにして渡し、保護者に必要な情報が確実に伝わるよう配慮し、いつでも安心して迎えに来られるような取り組みがあります。		
3	評価項目 3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点 (●●●●●●)	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目 3 の講評 評価項目 3 の講評を入力してください		
① 子どもの自主性が育まれ、主体的に遊べる環境づくりに取り組んでいます 一人ひとりの子どもが興味・関心を感じ自主的に遊ぶためにコーナー保育を導入し、子どもが自分で玩具や絵本を選んで遊べるように、手に取りやすい場所に配置をしています。コーナー保育を通しての「育てたい子どもの姿」の実現に向けて、子どもがやりたいことや遊びたいものを聞きながら、職員同士で意見を		

出し合っています。また、無理なく集団活動に関われるよう子どもの気持ちを汲み取りながら少しずつ興味を持ち、安心して参加できるよう声をかけています。

② 日々の活動を楽しみながら言葉の習得や豊かな感性が育まれるようにしています

子どもの一人ひとりの状況に応じて、生活や友だちとの関わりの中で、自分の欲求や気持ちをうまく言葉にできない時は、職員が仲立ちをして子どもの気持ちを代弁するなどし、言葉による伝え合いが育まれるよう配慮しています。また、公園で収集した自然物などのさまざまな素材を用意し制作物を自由に作ったり、新しい音楽を取り入れたりして、子どもたちが自ら表現活動に取り組めるよう環境を整えています。

③ 戸外遊びを積極的に取り入れ、さまざまな自然の探索活動を楽しんでいます

日ごろから図鑑を見るなどして子どもたちが自然を感じる心を育んでいます。近隣の公園に遊びに行き、アリやダンゴムシなどの虫探しをして、自然の生き物に興味・関心が持てるようにしています。公園では季節によって変化する自然物に触れたり、観察したりしながら、園で見ている図鑑の草花と花の咲き方や実のつき方などが同じか見比べて自然への興味・関心を広げています。また、ダンゴムシやカマキリを捕まえて園で1週間程度飼育しながら観察して、生き物の命の大切さについて学ぶ機会を設けています。

4

評価項目 4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点 (●●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目 4 の講評

評価項目 4 の講評を入力してください

① 行事に向けた取り組みは、子どもの興味・関心・育ちを大切に進めています

行事を実施するにあたり、対象が乳児クラスのみであるため月齢による成長や発達の違いが大きいことを踏まえ、運動会の種目は一人ひとりに配慮した競技を考え実施しています。また、子どもの興味・関心や意欲を大切にしながら、日々の保育の延長として行事に向かって主体的に取り組めるよう配慮しています。行事後は反省をおこない、乳児ならではの配慮や見通しを持った対応策などを話し合い、次の行事につなげています。

② 子どもがやり遂げることの喜びを味わえるような保育の工夫をしています

日常の保育の活動が行事につながるよう、日々の保育を丁寧におこない子どもたちの自主性を尊重しています。発表会は、卒園式と一緒にこなっており、保護者の前で自信を持って発表できるよう練習は無理のないよう進め、子どもたちが楽しんでおこなえるよう配慮しています。運動会においては、保護者も参加し親子で楽しんでもらえるよう競技を計画し、子どもの成長とともに共有できるほか、子ども同士で協力しておこなう競技もあり、一つのことをみんなでやり遂げる喜びが味わえるような取り組みがあります。

③ 保護者参加以外の行事での子どもたちの様子を、写真や動画配信でも伝えています

保護者には、年度始めに年間行事予定表を配布し園だよりでも知らせています。保護者参加の行事については、開催前に詳細を知らせる手紙を配布しています。季節の行事など、保育中におこなう行事は写真販売サイトで販売している写真を見てもらうことで、子どもたちの楽しむ様子を伝えています。また、毎年七夕園祭りには保護者を招いて子どもと一緒に制作やゲームを楽しんでもらっていましたが、コロナ禍のため今年度は平日に職員と子どものみで開催しています。

評価項目 5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点 (●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目 5 の講評

評価項目 5 の講評を入力してください

① 子どもの変化に気をつけ、心身ともに安定をした一日が過ごせるようにしています

体調の急変が起きやすい乳児に対する長時間保育については、体調に変化が見られないかをより気にかけていき、細やかな対応をしています。顕著な体調の変化が見られなくても、気持ちが安定しているか、疲れている様子はないか、いつも通りの食欲や排せつ状況かなど、一人ひとりの子どもの全体的な様子に目を向けています。保育の中で変化を感じ取った場合は、1対1でのスキンシップをとってゆっくり接したり、お昼寝の時間を早めたりするなどの配慮をし、一日を通して子どもが安定をした状態で過ごせるように努めています。

② 延長保育時間の時間帯も、子どもが楽しく過ごせるように工夫をしています

早番の時間は、9時30分まで合同保育で過ごし異年齢児との交流を大切にして、環境を整えて保育をおこなっています。夕方の時間帯では、16時30分から18時30分まではそれぞれのクラスで過ごし、遅番の時間帯は0歳児クラスと2歳児クラスにわかれて保育をおこなっています。また、決まったおもちゃや遊びではなく、普段とは異なる玩具を提供したり、ルールのある遊びのような集団遊びを取り入れて職員と楽しんだり、子どもが延長保育時間を楽しんで過ごせるように工夫をしています。

③ 保護者が安心して早番・遅番の時間も利用できるように工夫や配慮をしています

早番や遅番の時間帯は担任以外が対応することもあるため、伝達事項や体調の変化がないか必ず保護者へ確認し担任へ伝えるようにしています。保護者にその日の子どもの様子を伝える際には、クラスの活動内容だけでなく、一人ひとりのエピソードも併せて伝えるようにしています。また、疲れている子どもが多いと感じた際には、戸外活動や室内での身体を使った運動は減らしゆったりと静かに活動できるよう柔軟に変更し、保護者にも情報を共有しています。

評価項目 6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点 (●●●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当

評価項目 6 の講評

評価項目 6 の講評を入力してください

① 子どもにとって楽しい食卓、嬉しい食事となるように努めています

毎日、調理員が子どもたちの喫食状況を見回り、職員からも気づいたことがあれば都度調理員へ共有し、具材の大きさや調理方法、味付けの工夫など食事作りに活かしています。献立は、できあがった際に確認し調理員や職員から意見を出し合い、事前に相談しており、必要に応じて本社担当者にも相談・確認をしてから提供するようにしています。本社担当、調理員、園の職員が全員で協力して子どもたちが安全・安心に日々の食事ができるよう配慮しています。

	② 子どもの発達や体調に合わせた、安全な食事の提供をしています 子どもが初めて食べる食材については家庭からはじめてもらい、食材チェック表を用いて確認をしています。また、離乳食やアレルギー食の対応は、毎月保護者に個々の状態を確認して書類に記入してもらい、安全に提供できるよう取り組んでいます。また、アレルギー食の対象の子どもが疎外感を感じないよう職員が1対1でそばにつき、「おいしいね。」などと明るく声かけし、安全面に配慮しながら楽しく食事ができるようにしています。 ③ 毎月さまざまな食育活動に取り組み、食材や食にまつわる文化にふれています 食育活動の一環として、園のテラスでミニトマトの栽培をおこないその成長を観察する取り組みがあります。また、子どもたちが食事を楽しみにできるよう日ごろから「今日は〇〇のメニューだよ。」と事前に伝えたり、食事の際には「おいしいね。」「元気がモリモリになるよ。」といった声かけをおこなったりして、食することへの意欲の向上につなげています。食育活動や普段の給食での様子を保護者に伝え、家庭での食事の様子をこまめに聞くことで、常に子どもの食事の状況を把握するよう努めています。														
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点 (●●●) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th> <th style="width: 70%;">標準項目</th> <th style="width: 15%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table> 評価項目 7 の講評 評価項目 7 の講評を入力してください ① 日々の健康管理を通して、子どもが健康に関心を持てるようにしています 毎月の身体測定と年2回の健康診断をおこない、発育の状況と健康状態の把握・確認をしています。また、登園した際、午睡前の着替えの際、保護者の迎えの前には、担任や引き渡し担当の職員が身体チェックや体調の確認をおこなっています。保育している中で、体調に変化が見られた場合は園長に報告して、保護者へ連絡をして適切な対応ができるようにしています。そのほか、園長や担任、副主任が保健指導として子どもたちが手洗いを丁寧におこなえるよう教えているとともに、継続して子ども自身が意識できるように、手洗い場の壁には子どもたちがわかりやすいようポスターを貼っています。 ② 医療機関と連携を図り、子どもが安全・安心に過ごせるようにしています 現在、医療的ケアが必要な子どもは在籍していませんが、必要に応じて近隣の眼科や整形外科などの医療機関と連携を取れるようにしています。また、アレルギーのある子どもの受け入れをおこない、安全な食事の提供をしています。そのほか、歩行や体のバランスが不安定な年齢であることや、何でも口に入れやすい発達段階であることを踏まえ、誤飲の可能性のあるものや大きさの玩具などを提供しないようにするなどの配慮をおこない、事故や怪我の防止に努めています。 ③ 家庭と連携をして、子どもの病気予防や健康維持に努めています 感染症が発生した場合は掲示やアプリの配信、口頭で保護者に知らせ注意喚起をおこなうとともに、主な症状や感染予防のポイントを伝えています。また、乳児に多く見られる乳幼児突然死症候群（SIDS）においては、家庭での子どもの寝方の聞き取りをするほか、日々のお昼寝の際には定期的に呼吸チェックをおこない職員間で予防に努めています。そのほか、保健だよりでは月ごとにテーマを設けその時期に流行しやすい感染症の紹介などをおこない、家庭とともに子どもの健康を守れるようにしています。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当													
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当													
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当													
8	評価項目 8														

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点 (●●●●●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目 8 の講評 評価項目 8 の講評を入力してください		
① 保護者に保育活動の様子や子どもの姿を丁寧に伝え、信頼関係の構築に努めています 保護者との日々の会話や連絡帳で家庭状況を把握し、各事情に配慮をした支援をおこなっています。保護者とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係を築きながらどのようなことでも相談や質問にも丁寧に対応することを常に心がけています。保護者から連絡帳で相談や質問があった場合には、手紙や電話にて時間を取り、必要に応じて個人面談をおこなって解決できるよう取り組んでいます。子どもの様子や保護者の思いは職員間で共有をし、担当しているクラスだけでなく、園全体の子どもたちや保護者の支援に努めています。 ② 保護者との信頼関係を築き、一緒に「生きる力」を育んでいけるように努めています 毎月の園だより「マンスリーレター」には、各クラスの様子を写真付きで紹介しているほか、保健・衛生関係、給食・食育関係の内容をまとめて掲載しており、「活動」「健康」「食事」の全てが子どもの成長・発達につながり、「生きる力」が育まれていくことを分かりやすく伝えています。また、年 2 回個人面談をおこない、保護者の悩みや質問をじっくりと丁寧に聞き取り話をする時間を設けています。現在コロナ禍のため保護者会はおこなっていませんが、今後は保護者同士が交流を図れる場を設けることを予定しています。 ③ 感染対策をおこないながら、保護者が子どもの成長を見る機会を設けています 今年度は9月に2歳児の保育参観をおこない、保護者が子どもの園での様子を見られる機会を設けています。参観を通して日ごろの子どもの様子を共有し、保護者の養育力の向上につながる取り組みがあります。また、七夕園祭り、運動会などの保護者参加の行事をおこない、子どもと一緒に楽しんだり、成長を感じられたりできる機会を設けています。行事のお知らせは、年間行事予定表で年度始めに知らせているほか、園だよりや行事の手紙にて都度周知し、保護者が参加しやすいよう配慮しています。		
9	評価項目 9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点 (●●)	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目 9 の講評 評価項目 9 の講評を入力してください		
① 近隣の施設と連携して、子どもたちと施設の利用者が身近に感じる取り組みがあります 近隣の高齢者施設とプレゼント交換をおこなう機会を設け、地域交流をおこなっています。現在はコロナ禍のため、入口で職員同士のプレゼント交換となっており、今年度はコスモスの形に折った折り紙に子どもの手形を押して渡しています。コロナ禍前は手遊び歌を披露するなどの交流を図っており、施設利用者の方が涙するほど喜ぶ姿があり喜ばれています。感染状況が落ち着いた際には、以前のような交流を再開する予定です。 ② 連携園との職員交流を通して、園以外の子どもたちとの交流が持てる機会を計画しています		

コロナ禍前は、連携園の公立保育園との交流で、まずは職員が園見学に行き園の特色や保育の仕方などについて教わっていました。その後、子どもが園の職員以外の人と親しく関わったり、卒園後に上がる幼児クラスの雰囲気を感じたりする機会として、2歳児は連携園を訪ねる予定でしたがコロナ禍となり中止しています。現在は園長同士で連絡を取り合い、園だよりでの情報交換を続けながら、子どもたちの交流を持てる機会をうかがいながら計画をしています。また、園長がオンラインによる小規模保育連絡会に参加し、同様の立場の園長たちと意見交換をしたり、情報交換をしたりして、子どもたちが安心して卒園できるよう情報を収集しています。

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル①	職員間の良好なコミュニケーションを通じ、職員同士で高め合う体制を図っています	
内容①	園内の職員関係を良好に保つため、園長主導のもと日々の細やかな声かけをおこなっています。とりわけ、小規模園であるメリットを活かし、園長の目の届く範囲で職員の状況を適宜確認することで、職員の些細な変化を汲み取り迅速なサポートに繋がっており、日々の課題や疑問に対し職員が意欲的に取り組むことができる体制を整えています。また、職員が安心して働ける関係性によりコミュニケーションが活発になり、職員間での意見交換等を通じて、職員同士が保育の質を高め合う関係性の構築に至っています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル②	一人ひとりの発達の情報を共有し、子どもの主体性を大切にしたい環境を整えています	
内容②	当園は定員15名となっており、小規模保育園として運営しています。子どもが少人数のため、常勤・非常勤に関わらず職員が全ての子どもの顔や名前を覚えており、保護者の安心感とともに、距離も近く気軽に相談できる関係が構築されています。また、子どもの情報は都度職員会議などで共有し、一人ひとりの子どもの姿や育ちについて、素早く把握する取り組みがあります。子どもが主体的に玩具を選べるよういつでも子どもの手の届く場所に玩具を用意し、必要に応じて子どもの年齢や発達の状態に応じた支援や援助ができる仕組みがあります。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル③	調理員が毎日子どもの喫食状況を把握し、楽しい雰囲気です食事ができるよう努めています	
内容③	毎月の園だよりでは、必ず食育に関わるお知らせを載せており、保護者に食育に関する情報を発信するほか、今月のねらいや食育活動・食育ニュース、季節の食材、今月のおすすめレシピなどを紹介しています。毎月の献立は、委託業者が作成し、調理員や園の職員が確認して、相談したうえで決定することで、子どもの実態に合わせた献立になるよう配慮しています。また、給食の時間には、毎日調理員が子どもの喫食状況を確認し、子どもたちに「美味しいね。」「元気もりもりになるよ。」などの言葉をかけ、楽しい食事の時間となるよう努めています。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員同士がサポートし合う体制により OJT 教育の環境が整い、研修では得られない保育現場からの経験を重ねることに注力しています
	内容	職員が安心して働ける環境を整えるため、園長は日々細やかな声掛けをおこない、明るく活気のある保育園となるよう取り組むことで、職員間の良好な関係性の構築に至っています。日々の保育の中で気になった疑問や課題においても、良好な職員関係により気軽に相談できる環境が整っており、職員同士が学び合う風土を築いています。とりわけ、小規模園であることをメリットと据えて、日々の保育において職員同士の関わりが多いことでサポート体制が整い、OJT による経験を積むことで研修受講だけでは得られない成長機会の創出に至っています。
2	タイトル	小規模園ならではのアットホームな雰囲気、一人ひとりの気持ちに寄り添った環境を整えるための手作りのものが充実しています
	内容	当園では、小規模園の特性を活かしアットホームな雰囲気の中、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、自主性を尊重した保育に取り組んでいます。子どもたちが主体的に活動できるよう声かけや玩具の配置を常に考え、0歳児クラスは音の出る玩具や、感触を楽しむフェルト素材の手作り玩具にもこだわり環境を整えています。1,2歳児クラスでは、限られた空間の中でパーティションを活用し、表紙が見えるよう透明な手作りの絵本ケースを設置しています。その上で、個々の発達に合わせたねらいを立て、見通しを持った保育を展開しています。
3	タイトル	乳児期は人としての土台づくりの重要な時期と考え、日々の成長を大切に見守りながら、子どもの生きる力を育てています
	内容	当園は、2歳児までの保育園となっており、幼児になるまでの人としての土台形成の重要な時期と捉え、日々の保育にあたっています。2歳児が終わるまでに、卒園や退園を迎えるにあたり、子ども一人ひとりの成長や発達に合わせた支援をおこなうことを大切にしながら、少しずつ子どもができることを獲得していく援助をしており、理念に掲げている「生きる力を創る」保育に努めています。子どもたちが巣立って行ったあとも、新しい環境で自分らしく生きることができるよう、気持ちに寄り添い丁寧に関わることを心がけています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	人材育成に関わる法人の研修体制を整備していますが、コロナ禍の影響を受け計画が滞っているため、状況を注視し再開の時期をみています
	内容	法人は職員の能力向上を図るため、メンター制度を導入しており、新入社員一人に先輩社員一人がサポートする体制を整えているほか、入社前研修、入社後フォロー研修、全体集合研修など、段階に応じた研修体制を整えています。しかしながら、コロナ禍の影響を受け、社内及び外部研修の開催が見送られることや、集合研修の開催が困難であるなど、円滑な開催には至っていません。今後は新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、研修計画に沿った受講を推進していきけるように、園全体で協力しながら職員の成長機会の創出を目指しています。
2	タイトル	時代に沿った運営に向けて ICT 化を段階的に推進し、利便性の更なる拡大に向け園全体で取り組む予定です

	内容	園では時代に沿った運営体制に向けて、段階的な ICT 化の導入に取り組んでいます。現在の利用状況は園業務支援アプリを活用し、利用者へのお知らせ配信・写真販売・出欠連絡、一部ペーパーレス化に取り組んでいます。また、登降園システム・保育料のお知らせ・給食の献立の配信は、2022 年 11 月頃を目途に利用を開始できるように準備をおこなっています。今後も利便性の拡大に向け、ICT 化のメリットの推進に向けて取り組むとともに、安定した稼働のため利用者及び職員へ適切にサポートを実施する予定です。
3	タイトル	地域の高齢者施設との交流を続けている一方で、コロナ禍で直接ふれあえる機会がなくなっており、再び交流が深まることを期待します
	内容	当園では、子どもたちが地域との交流を深めるため、近隣の高齢者施設との交流を続けています。コロナ禍前は、2 歳児が施設まで出向き、利用者の方の前で手遊びを披露したり、折り紙で作ったメダルなどをプレゼントしたりして、施設を利用する方にも喜んでもらっていましたが、現在は感染症対策として、入口でプレゼントを渡したり、施設の外から手遊びを披露したりするに留まっています。新型コロナウイルス感染症が落ち着いた場合には、再び子どもたちと施設の利用者の方が直接ふれあえる取り組みの再開に期待します。